

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

みだしのことについて、本市全体の状況については、下記のとおりです。
なお、本年度は3教科（小中…国語、小中…算数・数学、小中…理科）の調査を実施しました。

記

1 本年度の各教科平均正答率

		国語	算数・数学	理科
小学校	本市	66	63	65
	三重県	65	62	63
	全国（公立）	65.6	63.2	63.3
中学校	本市	69	52	49
	三重県	68	52	48
	全国（公立）	69.0	51.4	49.3

※ 文部科学省は、微小な差異は点数的に学力の違いを示すものではないことから、平成29年度より小数点以下は四捨五入し整数で示しています。

2 本市の小中学校の状況

小中学校とも3教科すべてにおいて、全国平均以上または同等の結果でした。

(1) 小学校

- ・ 国語は、県平均以上、全国平均と同等という結果でした。「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける」力に課題が見られました。
- ・ 算数は、県平均以上、全国平均と同等という結果でした。「割合・比例等、伴って変わる2つの数量の関係について理解すること」に課題が見られました。
- ・ 理科は、県平均以上、全国平均を上回る結果でした。「実験器具についての理解」が良い結果でした。「水が水蒸気になり空気中に含まれていること」の理解に課題が見られました。

(2) 中学校

- ・ 国語は、県平均以上、全国平均と同等の結果でした。「場面の展開や登場人物の心情の変化などについて描写を基に捉えること」について課題が見られました。
- ・ 数学は、県平均と同等、全国平均を上回る結果でした。「文字を用いた式を具体的な場面で活用すること」に課題が見られました。
- ・ 理科は、県平均以上、全国平均と同等という結果でした。「大地の変動から推測すること」に課題が見られました。

3 今後の方針

- ・ 今回の調査結果の詳細な分析を行い、ICTの効果的な活用を含め、本調査問題の趣旨等を踏まえた具体的な授業改善の視点を提案します。さらに、各学校において自校の分析・結果公表を指示し、特に課題が見られた学校には、適切に指導・助言を行い、学校と連携して学力向上に取り組みます。